

農業後継者の育成策は。

答 継続、拡充していく施策を精査し、政策に反映させます。

第3者継承実現をどう進めますか

問 「多古町農業を考える会」の活動状況を伺います。

産業経済課長 約40人の個人、法人で組織しています。定期的に会議を設けて現状をお聴きしたり、町が都市部へ向いて新規就農希望者の情報を収集した結果や、農業体験ツアーを開催した報告など、町の取組みを情報提供しています。

問 町の農業経営者の方の生の声を聞く講習会を開いていくことも重要だと思いますが、町の考えを伺います。

産業経済課長 町では年5回アグリセミナーを開催し、全国的に成功している法人の経営者の方々に講義をお願いしています。町内の農業者で実績のある方のお話も今後取り入れてまいります。

産業界課長

町では年5回アグリセミナーを開催し、全国的に成功している法人の経営者の方々に講義をお願いしています。町内の農業者で実績のある方のお話も今後取り入れてまいります。

問 第3者継承について、経営を譲る側と受ける側の双方にメリットがあると思いますが、町の考えを伺います。

産業経済課長 マッチング制度とともに、メリットをさらに広く周知するなど情報提供に努めてまいります。

産業界課長

マッチング制度とともに、メリットをさらに広く周知するなど情報提供に努めてまいります。

産業界課長

新規就農希望者と町内農家とのマッチング制度を構築し、その先には第3者継承も見えてくると考えています。国でも令和3年度から経営継承・発展等支援事業の予算が措置されています。また、農地を譲った場合の機構集積協力金や雇用する側に雇用就農資金の支援もあります。マッチングをしていく上では「この人であれば自分の資産を引き継がせても良い」と思えるまでの意思疎通が重要だと考えます。

問 譲る側のメリットとしては新規就農者に農地や農機具及び作業場を貸した場合、賃貸料が受け取れます。また、新たな経営者である新規就農者の経営下で働けば労賃も受け取れ、さらに年金収入もありません。老後の経済状況としては望ましい形を作れると思いますが、町の考えを伺います。

産業界課長 マッチング制度とともに、メリットをさらに広く周知するなど情報提供に努めてまいります。

問 北海道の赤井川村では、道内で3番目に小さい自治体でありながら村独自に手厚い農業後継者

菅澤 博隆 議員

所要時間 80分



支援策を制定し、新規就農者の受け入れ実績は驚くほどの成果を上げています。本町でもより一層の具体的な支援策が必要だと思いますが、町の考えを伺います。

町長 農業に限らず、子育て支援策など最大限今できる援助を施策として考えています。今後継続するもの、拡充するものを精査して政策に反映させてまいります。

建設残土埋め立て条例改正の進捗状況は

問 条例改正が遅れていますが、進捗状況を伺います。

生活環境課長 2月14日付けで検査庁との協議が終了しました。今後、庁内の審査会に諮った上で、準備ができ次第、パブリックコメントを実施してまいります。

問 建設残土埋め立ての中で重要な観点として、地下水汚染の懸念が挙げられます。議会だより90号の中にも「地下水汚染が懸念されることから一日でも早く対応が必要」との文言があります。条例改正の中で地下水汚染の懸念というのは立法事実には足りうるかと考えますが、町の考えを伺います。

生活環境課長 建設発生土が町に入される前に検査を行います。その後、2カ月ごとに発生土および水の検査をしています。結果は環境基準値内または不検出です。

問 町の豊かな自然を守る、安心な地下水を守る観点から、町長の答弁を求めます。

町長 本町の豊かな自然、景観を損ねる違法な埋立てに対しては、毅然とした対応をしていきます。現在も職員が毎日巡視していますが、何か問題があれば条例改正をし、その法的な根拠に基づいてきちんと対応していきます。

このほかの質問

● 特定外来生物ナガエツルノゲイトウ駆除について

り、令和5年度予算では、補助金を増額させていただきました。

町長 高齢者の方々が生きがいをもち、活躍することによって社会の中で活躍することは本町に重要なことであり、私の政策では、障がいのある方も高齢者も若者も女性も誰もが活躍できるまちづくりを掲げていますので、シルバー人材センター支援、高齢者支援策をしっかりと推進してまいります。

今後の学童運営方針は。

答 支援員確保などを検討してまいります。

学童保育所のこれから

問 国は、国民の所得向上、女性の地位向上を目指す施策を展開し、非正規雇用から正規雇用へ、女性の管理職登用など、女性の活躍が期待されます。家族構成も核家族化へ変化し、学童保育の重要性、必要性が増していますが、4力所の学童保育所の運営状況を伺います。

町長 令和4年2月の1日最大利用者数は、多古学童82人、久賀学童19人、中村学童22人の合計123人です。なお、常磐学童は、支援員の確保ができないことから、現在多古学童で預かりしています。また、利用者アンケートにより、新1年生の利用希望者がいないことなどから、常磐学童廃止の条例改正を本定例会に上程しています。

問 利用者負担について、本町は、月額1人7000円（おやつ代込）、芝山町は、月額1人6000円でおやつ代は別途1200円と聞いています。料金を比較すると本町は安いと言えますが、芝山町では、2人以上同時利用の場合、2人目以降は半額になります。本町で第2子目以降半額にし

た場合、3人利用で月7000円の差額となり、年間に換算すると保護者の負担が軽減されると思います。が、町としての考えは。

子育て支援課長

芝山町とは、利用開始時間やおやつ代などの違いがあります。また、利用料金について、令和4年度の利用者の中で2人目以降は46名であり、影響額としては約190万円です。近隣市町、先進事例を含め研究してまいります。

問 児童数は減少していますが、学童保育の利用希望者は増えると思われませんか。特に夏休みは学童を頼りにされるとの声を聞いています。支援員の確保、定員数、施設など、今後の運営方針を伺います。

子育て支援課長

多古学童の令和4年度登録者数は定員100人に対し2月の最大利用者は82人で実質的には定員を超えていませんが、支援員の状況を考えて80人でも大変だと認識しています。今後、施設については、利用者の増加、老朽化を含めて研究し、支援員の確保については、ハローワークでの募集、教員を目指す学生への募集などを含め研究してまいります。

た場合、3人利用で月7000円の差額となり、年間に換算すると保護者の負担が軽減されると思います。が、町としての考えは。

シルバー世代の活躍推進に向けて

問 シルバー人材センターの運営状況を伺います。

町長 平成15年に設立されて以来、高齢者の方々に就業の場を提供し、生きがいを持って働く社会づくりに貢献いただいています。平成24年4月からは一般社団法人から公益社団法人に移行し、会員皆様が「丸」となって事業運営に努めていただいています。受託収益の減少、人件費の増加などで運営は非常に厳しい状況と認識しています。

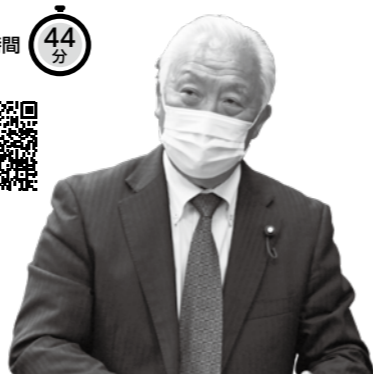
問 高齢者が自ら直接社会と関わり、安心して生きていくことが、安心して働ける事業運営が求められますが、町の考えは。

産業界課長

シルバー人材センターは、町にとっても有効であると認識して

鵜澤 茂 議員

所要時間 44分



町づくりに貢献する高齢者